

令和7年度 青森市子ども会議活動報告会

- 1 日 時 令和8年3月14日(土) 13時00分～16時00分
(活動報告会:14時30分～15時00分)
- 2 場 所 青森市役所本庁舎 1階サードプレイス・3階会議室
- 3 出席者 子ども会議委員16名、子どもサポーター1名、事務局4名
- 4 活動内容
 - ・令和7年度青森市子ども会議活動報告会
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 令和7年度青森市子ども会議活動報告
 - (4) 卒業委員から後輩委員へのメッセージ
 - (5) 後輩委員から卒業委員への感謝の言葉
 - (6) 市長からの感想
 - (7) 閉会- ・今年度の活動を振り返って

5 開催概要

ついに今年度最後の活動である、活動報告会を迎えました。

開会

司会の開会のあいさつにより、活動報告会が始まりました。出席した委員とサポーターの紹介をした後、市長からごあいさつをいただきました。



市長あいさつ



まずは先週3月8日に開催された市営バスの100周年の記念セレモニーで、皆さんの素晴らしい発表を聞くことができました。

今日は、この1年間、笑顔あふれる青森市をテーマに皆さんが活動した、まとめを報告してもらいます。Let 'go! Town make グループは、子どもの視点で様々なことを調べ、観光マップを作成したとのことで、後ほど拝見できることを楽しみにしています。また、青森ライト～権利で青森の明るい未来へ～グループは、子どもの権利をどのように広めていくのかについて、たくさん意見を出し合いながら活動してきたと聞いておりますので、その報告を楽しみにしています。

皆さんは、青森市民の一員として、青森市をさまざまな形で元気に、そして明るいまちにするための活動に取り組んできたことと思います。一人一人が青森市をより良くしていくために協力することは非常に大切であり、私自身もさまざまな活動をしてきました。皆さんもこれから、こうした活動を忘れず、ますます頑張ってくださいと思います。それではよろしく申し上げます。

令和7年度青森市子ども会議活動報告

まず11月には、青森市子ども会議の一大イベント「子ども会議フォーラム2025」を、たくさんの方々のご協力のおかげで開催することができました。「20年後の青森市のすがた」について意見を表明し、多くの方が聞いてくれたこと、自分たちの知らなかったことや、青森市が取り組んでいることを市長や理事者の皆さまから教えていただけたことがとてもうれしかったです。今年度は、新たにファシリテーターの先生に子ども会議フォーラムに向けた活動について、話し合い等をサポートしていただきました。ワークシートを使って自分の考えを整理することで、自分たちの思いをより分かりやすく伝えることができました。開催後には、アンケート結果をもとに振り返りを行い、ほめていただけたことがとても励みになり、また、これからの活動につながるアドバイスもいただきました。グループごとに意見交換もしました。来年度、もっと良いフォーラムにするための大切な時間になりました。

青森市子ども会議フォーラムを経てからの活動について、Let 'go! Town make グループでは、今年度行った様々な調査・研究をまとめ、「子どもの視点でつくる観光マップ」作りに取り組んできました。このマップには、青森駅周辺の駐車場と駐輪場の収容台数・利用料金や青森駅・新青森駅周辺のお土産店を調査し、実際に見て感じたおすすめポイントを添えて紹介しています。さらに、青森市のおすすめ観光スポットとして、実際に見学に行った「三内丸山遺跡」「リンクステーションヒルズ雲谷」のほか、自分たちがぜひおすすめしたい場所についても取り上げました。それぞれの施設の特徴や営業時間などを、青森市の地図と合わせて掲載しています。地図を見ることで、青森市にはさまざまな場所にたくさんの魅力があることが伝わるようになりました。工夫した点は、観光スポットまでの交通アクセスもあわせて載せたことです。バスや電車、フェリーや飛行機など、さまざまな交通手段で青森市を訪れる方が、「どこから、何を使えば行きやすいか」が分かるように調べてまとめました。少しでも利用しやすいマップになっていれましょう。また、「青森市の食についても紹介したい」という意見も多く出ました。もし来年度など、また作成する機会があれば、ぜひ挑戦してみたいと思います。



続いて、青森ライト～権利で青森の明るい未来へ～グループでは、もっと多くの人に、子どもの権利をPRしたいという思いから、子どもの権利をPRする市営バスを運行できることになりました。2月26日から約1か月、市内を実際に走っています。バスの車外には、自分たちで考えたデザイン案の中から、左右と後ろに貼る3種類を選びました。どの案も思いがこもっていて、選ばれなかったデザインも捨てがたかったので、車内の窓に貼ることにしました。また、バスの車内にもさまざまな工夫をしました。天井の側面に子どもの権利相談センターだよりや、子どもの権利に関するリーフレットを掲示しました。窓には、昨年度の子ども会議で作成した「子どもの可能性新聞」を貼りました。さらに、手すりの邪魔にならない場所に、

ねぶた祭りでの子どもの権利普及活動の際に配布した「花笠マスコット」を飾りました。座席の後ろには、子ども会議の活動の輪を広げたいという思いから、子ども会議委員募集中のステッカーを貼っています。自分たちがデザインした市営バスが実際に運行していることは、とてもうれしいことです。このバスをきっかけに、少しでも多くの人に子どもの権利を知ってもらえたらうれしいなと思います。

そのほか、子どもの権利相談センターの紹介動画を作成し、子ども会議公式Instagramに投稿しました。動画は、「子どもの権利相談センターの概要紹介」、「相談対応者の紹介」、「相談の様子を紹介」の3種類を作成しました。工夫したことは、画面の中により多くの情報を分かりやすく入れられるよう、横長の動画にしたことです。また、字幕の色を話す人ごとに変えることで、見やすくなるよう工夫しました。大変だったことは、いくつかのパターンで撮影した動画の一つにまとめる編集作業や、字幕を入力する作業です。とても時間がかかりましたが、動画編集が得意な委員に使い方を教えてもらいながら、みんなで協力して完成させることができました。この動画を見た人が、「困ったことがあったら、ここに相談していいんだ」と思ってくれたらいいなと思います。

2月に開催を予定していた「子どもの権利トークイベント」は、大雪の影響により、やむを得ず中止となりました。昨年度と同様に「子どもの権利」について考えてもらえることを目的にしたイベントとして開催する予定でした。みんなで話し合い、考えながら活動した経験を生かして、来年度につなげていけたらと思います。

このように、「笑顔あふれる青森市」になることを目指して、私たち子どものパワーも加えて、より良い青森市にしていきたいという思いで、この1年間いろいろな活動を行うことができました。今年度の子ども会議では、普通ではできない経験ができたという意見や、みんなと協力して行ったイベントが楽しかったという意見が多く出ました。これまで積み重ねてきた活動を大切にしながら、新たな活動やイベントにも挑戦していきたいと思います。

青森市子ども会議フォーラム2025で、「20年後の青森市のすがた」についての意見表明に対し、西市長から「その時々で、どんなまちが求められているのかを考え、皆さんが意見を出していくことがとても重要だと思っている。」と感想をいただきました。今年度だけで終わらせるのではなく、来年度も継続して考え、行動していけるよう、続けて参加するメンバーが率先して考え、活動していきたいと思います。

今年1年間、私たち青森市子ども会議の活動にご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

令和7年度青森市子ども会議活動報告書の提出

発表が終わった後、「今年度、私たちが活動を楽しく活動できたのも、西市長をはじめ、みなさんのご協力をいただいたからです。ありがとうございました。」との言葉を添え、活動報告書を市長に手渡しました。あわせて、今年度作成した子どもの権利普及啓発Tシャツとコーヒータンブラーもプレゼントしました。



卒業委員から後輩委員へのメッセージ



まずは、8年間、子ども会議に所属させていただき、本当にありがとうございました。私が小学5年生の時は本当に緊張して誰とも話せず、先輩についていただけでしたが、子ども会議を通して自分の意見を話したり、後輩と接したりすることができるようになり、本当に自分の中で成長することができた8年間でした。そして、活動報告会の司会や、フォーラムの議長席に座らせていただいたこと、今年はバスのアナウンスの音声録音など、普通の高校生活ではできない体験をすることができて、本当に良い経験だと思っています。後輩たちもみんな優しくて素敵な人達ばかりなので、これから入ってくる後輩にとって、素敵な先輩になると思います。本当に8年間ありがとうございました。

後輩委員から卒業委員への感謝の言葉

ご卒業おめでとうございます。先輩とは少しの間しか一緒に活動できませんでしたが、マップ作りの時は優しく接してくれて嬉しかったです。高校生として積極的にアイデアを出してくれたり、進んで助けてくれたり、みんなを引っ張ってくれたりしてくれてとても尊敬しています。私も先輩と同じように後輩に優しく教えられるようになりたいと思います。長い間活動に取り組み、子ども会議を引っ張ってくれてありがとうございました。



市長からの感想



皆さん、ありがとうございました。素晴らしい発表を聞くことができました。第1回会議が6月、11月の子ども会議フォーラム、そして今日と、日を追って皆さんが成長していく姿を見ることができ、大変うれしく思っています。これまで、青森市をより良くするためにはどうしたらよいかを自分たちで考え、調べ、その成果を観光マップや動画という形でまとめたということは、とても良い経験になったのではないかと思います。また、青森市が笑顔あふれるまちになってほしいと皆さんが思っているように、私も同じ思いです。笑顔があれば人は明るくなりますし、大変なことがあっても笑顔を忘れない気持ちが何よりも重要だと思っています。そのことを自ら体験することができた1年間だったのではないかと感じています。

ワークシートを活用した話し合いや、アンケートによる意見の聞き取りなど、様々な取り組みを行ってきたと思います。こうした取り組みは、今後様々な場面で活用できます。皆さんが大人になってからも、多くの人々の意見を取り入れながら一つの考えとしてまとめていく場面において、今回の経験はきっと役に立つと思います。ぜひ、この経験を忘れずにいてほしいと思います。

観光マップについては、単なる地図ではなく、見た人が行ってみたいと思えるよう工夫されてお

り、そのために自分たちがまちの魅力を理解し、多くの魅力が伝わるように工夫したことがきちんと伝わってくるような内容でした。また、交通アクセスもあわせて掲載したことにより、こうすれば行くことができる」と具体的にイメージできることが非常に有効であったと思います。さらに、子どもの権利について、まだ知らないという人たちもいると思います。それを動画という形で情報発信を行ったことは、大きな広がり期待できることだと思っています。最近動画を活用した情報発信が広く普及しており、今後様々な場面で活用していけると思います。今年1年で学んだこと、吸収したことを、また来年以降にも生かしていただきたいと思っています。今日は本当にありがとうございました。

今年度の活動を振り返って

活動報告会を終え、会議室に戻り、まず卒業委員へ感謝の気持ちを込めたプレゼントを贈呈し、喜んでもらうことができました。その後、今年度の活動を振り返るためアンケートを実施しました。活動の中で「意見表明できた」「自分の意見が反映された・受け止めてもらえた」と実感できた委員が多く見られました。

これをもって、令和7年度の子ども会議の活動はすべて終了しました。
みなさん、1年間お疲れさまでした。

